

# 2016年3月期第2四半期決算説明会

## 2015. 11.19

NIPPON YAKIN

日本冶金工業株式会社

---

# 本日のアジェンダ

## 1. 2016年3月期第2四半期決算サマリー

執行役員経理部長 小林 伸互

## 2. 足元の状況と競争力強化の取り組み

代表取締役社長 木村 始

〈参考〉主要データ(連結ベース)

## 2016年3月第2四半期決算のポイント

- ① LMEニッケル相場の急落と在庫評価損の計上
- ② 一般材部門、高機能材部門共に前年同期比で販売数量減少、販売価格については維持
- ③ 年度後半に向けてLMEニッケル相場は落ち着きを取り戻すと想定されるが、厳しい事業環境が続く
- ④ 引き続き適正な販売価格維持に努め収益を確保し、「中期経営計画2014」に基づく高機能材事業強化等の諸施策を着実に実行して、通期黒字達成へ

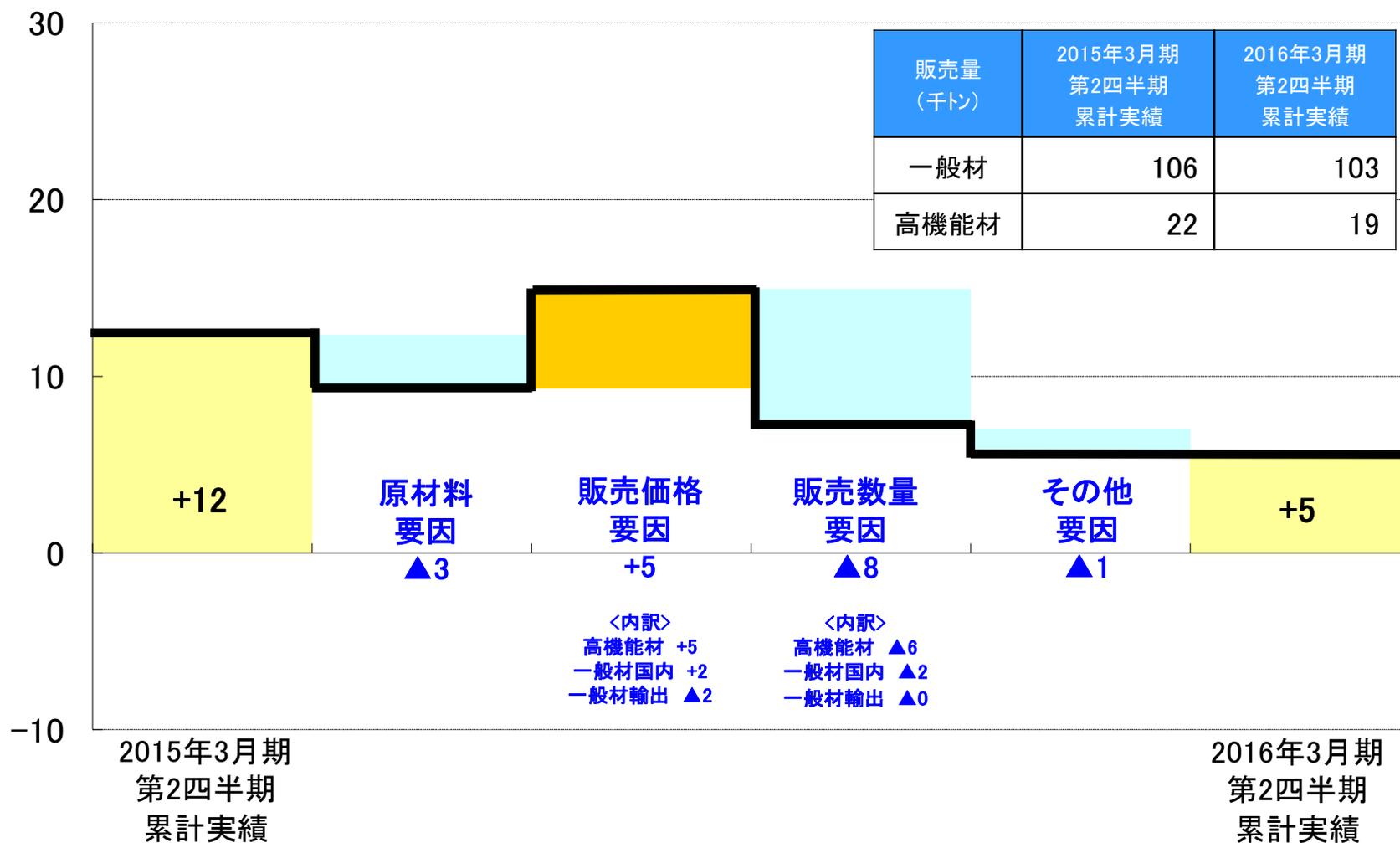
# 損益計算書 連結 概要

	2015年3月期 第2四半期 累計実績 (億円)	2016年3月期 第2四半期 累計実績 (億円)	前年同期比 (億円)	前年同期比 (%)
売上高	640	626	▲ 13	▲ 2.1
営業利益	12	5	▲ 7	▲ 56.6
経常利益	8	▲ 1	▲ 9	▲ 119.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6	▲ 4	▲ 10	▲ 164.9
高機能材部門 売上高比率(%)	35.0	33.4		

(ご参考) ニッケルLME期中平均価格：2015年3月期上期8.40US\$/Lb、2016年3月期上期5.34US\$/Lb。

期中平均為替レート：2015年3月期上期103.04円/\$、2016年3月期上期121.80円/\$。

# 営業利益変動の要因分析(前年同期比較:億円)



# 貸借対照表 連結 概要

	2015年3月末 (億円)	2015年9月末 (億円)	前期比増減 (億円)	2015年3月末 構成比(%)	2015年9月末 構成比(%)
現金・預金	50	58	8	3.6	4.2
売掛債権	210	202	▲ 7	14.9	14.7
たな卸資産	327	304	▲ 23	23.2	22.2
その他流動資産	5	2	▲ 3	0.4	0.1
固定資産	818	805	▲ 13	58.0	58.7
<b>【資産合計】</b>	<b>1,410</b>	<b>1,371</b>	<b>▲ 39</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>
借入金及び社債	635	627	▲ 8	45.1	45.7
その他負債	432	411	▲ 21	30.6	30.0
<b>【負債計】</b>	<b>1,068</b>	<b>1,038</b>	<b>▲ 29</b>	<b>75.7</b>	<b>75.7</b>
<b>【純資産計】</b>	<b>343</b>	<b>333</b>	<b>▲ 9</b>	<b>24.3</b>	<b>24.3</b>
自己資本比率(%)	24.3	24.3			

# キャッシュフロー計算書 連結 概要

	2015年3月期 第2四半期 累計実績(億円)	2016年3月期 第2四半期 累計実績(億円)	前年比 (億円)
営業活動によるキャッシュフロー	▲ 29	29	59
税金等調整当期純利益	8	▲ 3	▲ 12
減価償却費	17	18	0
売上債権の増減額(△は増加)	▲ 1	7	9
たな卸資産の増減額(△は増加)	▲ 49	23	72
仕入債務の増減額(△は減少)	▲ 6	▲ 16	▲ 11
法人税等の支払額	▲ 1	0	1
その他	2	1	▲ 1
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 13	▲ 15	▲ 2
有形・無形固定資産の取得による支出	▲ 15	▲ 15	0
その他	3	1	▲ 2
フリー・キャッシュフロー	▲ 42	14	56
財務活動によるキャッシュフロー	28	▲ 6	▲ 33
借入金及び社債の純増減額(△は減少)	32	▲ 7	▲ 39
その他	▲ 4	2	5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	▲ 14	8	22

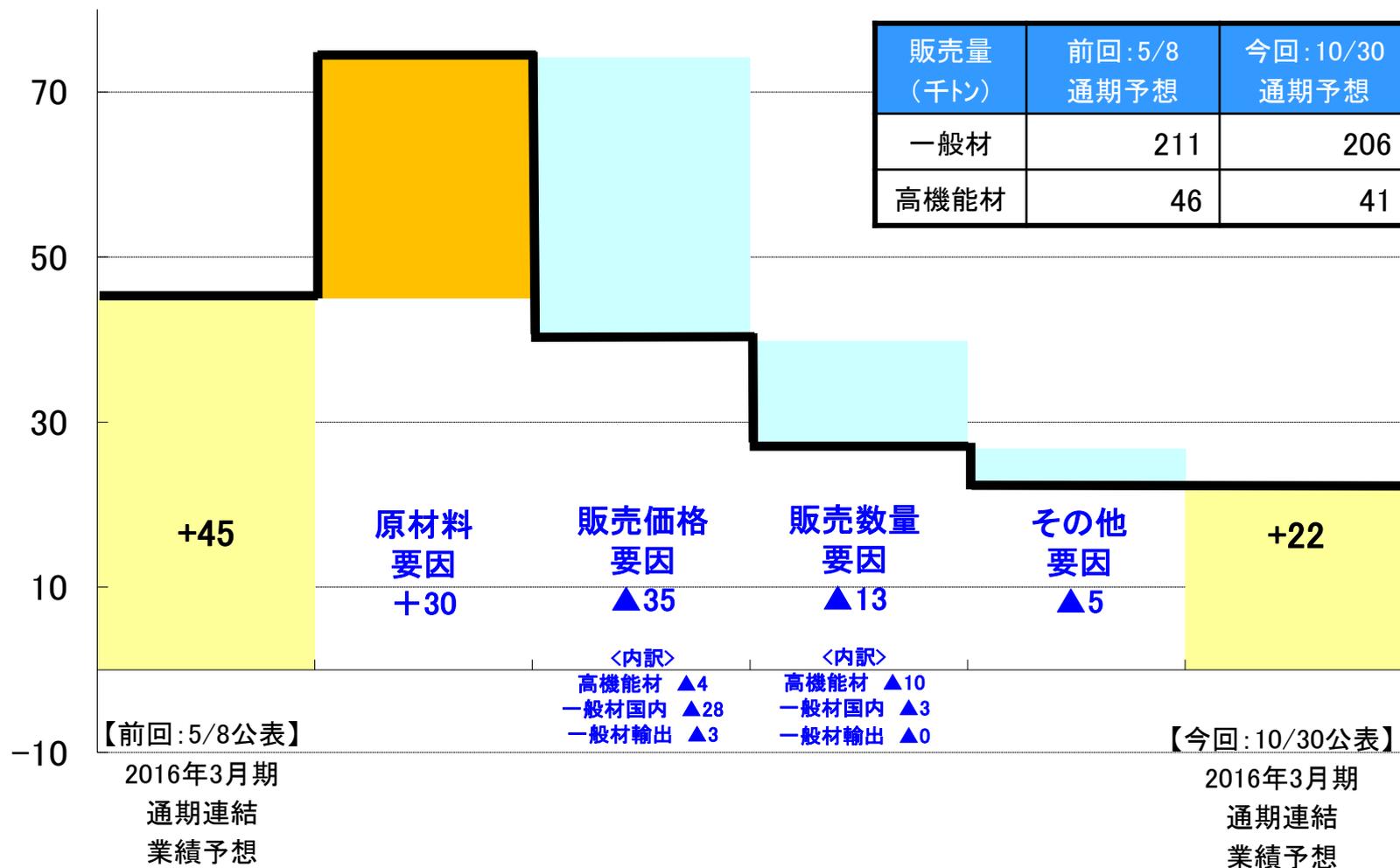
# 2016年3月期連結業績予想(前回予想比較:億円)

	【前回:5/8公表】 2016年3月期 通期連結 業績予想 (億円)	【今回:10/30公表】 2016年3月期 通期連結 業績予想 (億円)	前回予想比 (億円)	前回予想比 (%)
売上高	1,320	1,250	▲ 70	▲ 5.3
営業利益	45	22	▲ 23	▲ 51.1
経常利益	25	8	▲ 18	▲ 70.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	21	4	▲ 17	▲ 81.0

(前提) 前回予想 ニッケルLME下期想定価格: 6.00US\$/Lb、為替レート 120円

今回予想 ニッケルLME下期想定価格: 4.50US\$/Lb、為替レート 120円

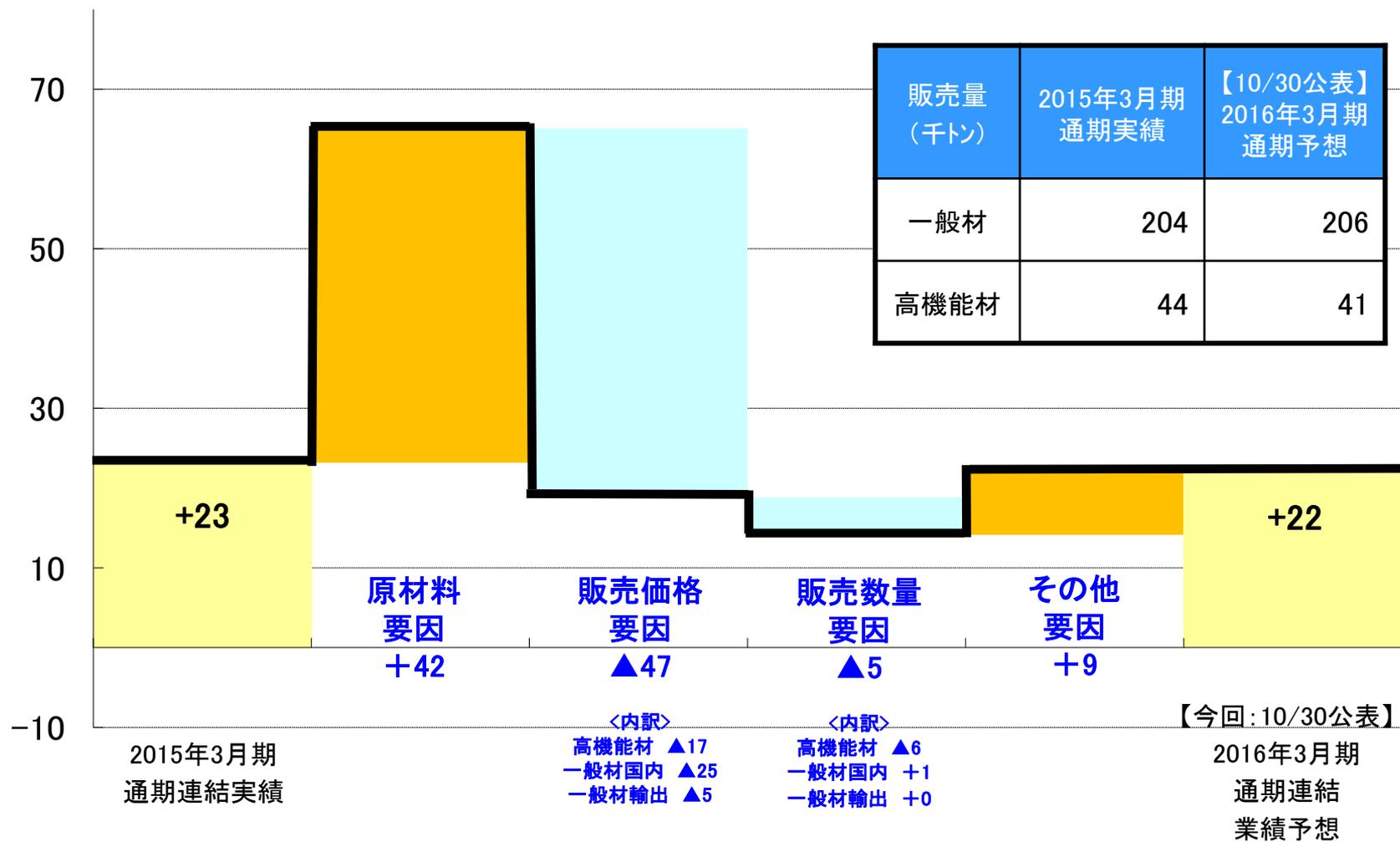
# 営業利益変動の要因分析(前回予想比較:億円)



# 2016年3月期連結業績予想(前期比較:億円)

	2015年3月期	2016年3月期		
	通期連結実績 (億円)	【10/30公表】 通期連結 業績予想 (億円)	前年比 (億円)	前年比 (%)
売上高	1,295	1,250	▲ 45	▲ 3.5
営業利益	23	22	▲ 1	▲ 5.1
経常利益	13	8	▲ 5	▲ 42.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	21	4	▲ 17	▲ 80.9

# 営業利益変動の要因分析(前期比較:億円)



## 本日のアジェンダ

1. 2016年3月期第2四半期決算サマリー

執行役員経理部長 小林 伸互

2. 足元の状況と競争力強化の取り組み

代表取締役社長 木村 始

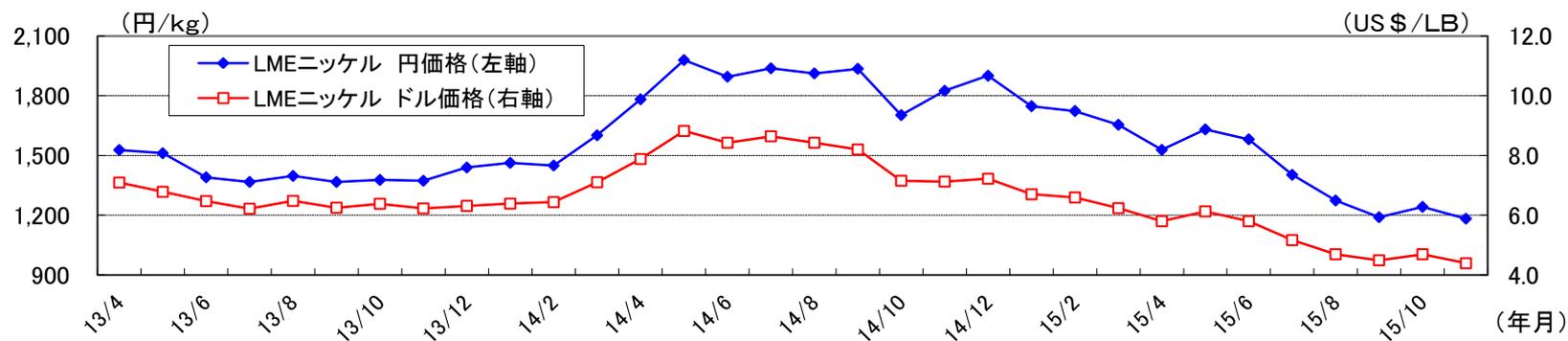
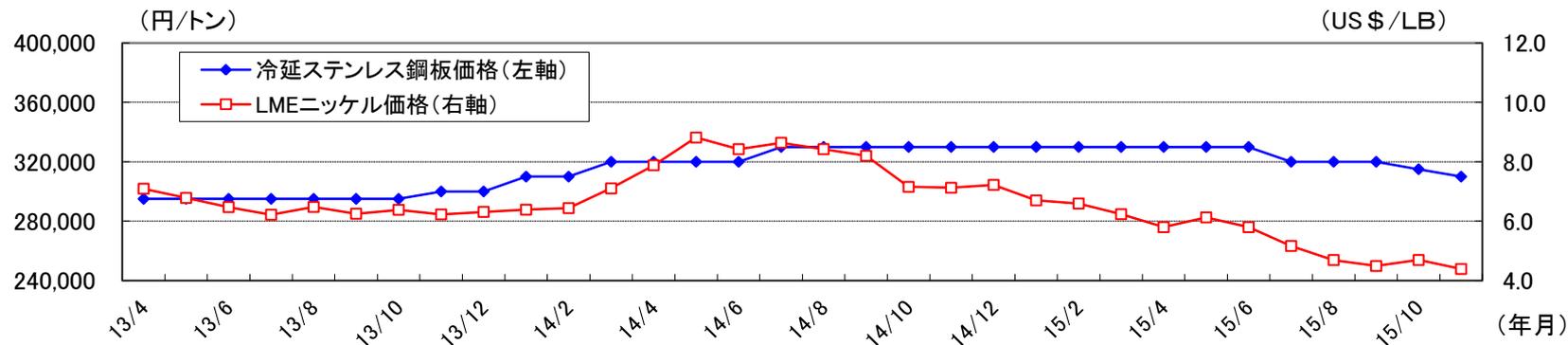
<参考> 主要データ(連結ベース)

# ステンレス一般材の状況

	今年度上期	下期想定
国内	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 自動車・建設関連の調整が継続、マーケット全体的に荷動きは悪い</li> <li>➤ 大型プロジェクトの目立った動きはみられなかったが、造船・水門関連は活況</li> <li>➤ メーカー各社は必要な生産量を継続し、価格安定を図ったが、ニッケルサーチャージの影響を受け、市況は弱含みに推移</li> <li>➤ 円安下で輸入材は若干の減となったが、一定量は流入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 市場の足元は調整局面が続いており、原料価格も含めた慎重な購入姿勢が継続</li> <li>➤ 住宅着工件数の増加で建築関連は需要増だが、工作機械受注は減、設備投資も盛り上がり欠ける等、需要見通しにバラツキ有り</li> <li>➤ ダム関連等、下期需要として期待が持てる大型案件が具体化している</li> </ul>
海外	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ LMEニッケル相場下落に、中国・韓国・台湾の過当競争でドル価格は以前にも増して厳しい状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 基本的な傾向は上期から変わらないと想定</li> <li>➤ 為替、原料価格を見ながらの慎重な商談姿勢が続く見込み</li> </ul>

# ニッケル・ステンレス価格の推移(月次)

- LMEニッケル価格は期を通じて下落、国内鋼板価格は相場を維持
- 足元は\$4.5/lb前後で推移

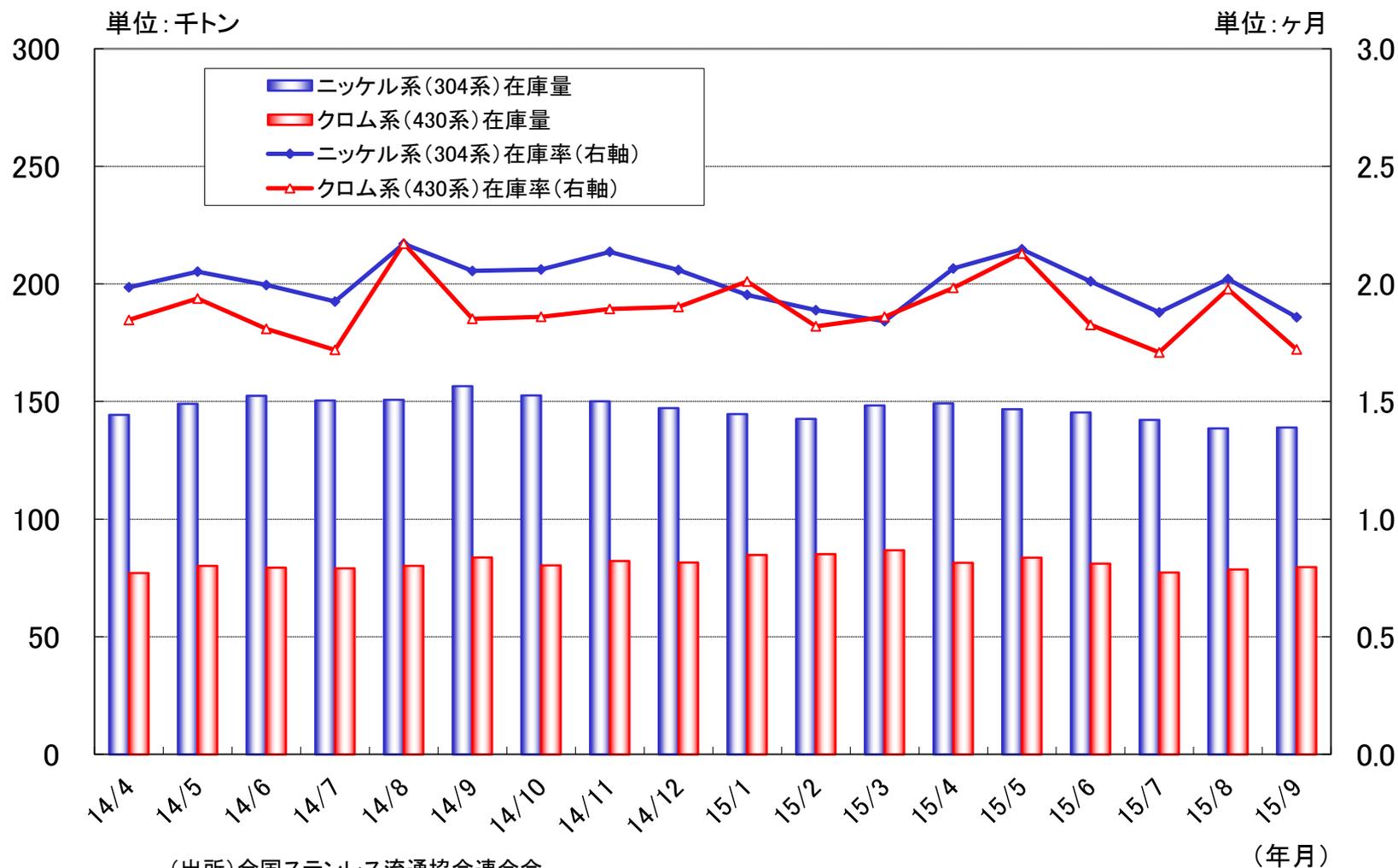


(注1) 冷延ステンレス鋼板: 東京SUS304種18-8、2.0ミリ。

(注2) 2015年11月価格は冷延ステンレス鋼板は直近、ニッケル価格は11/13までの平均。

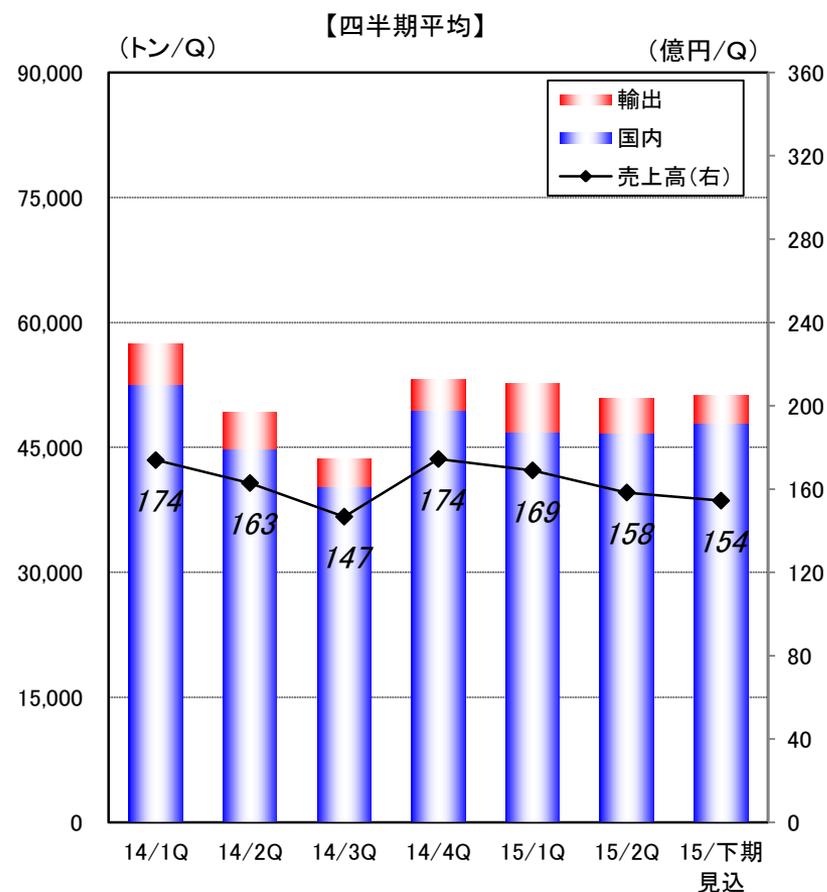
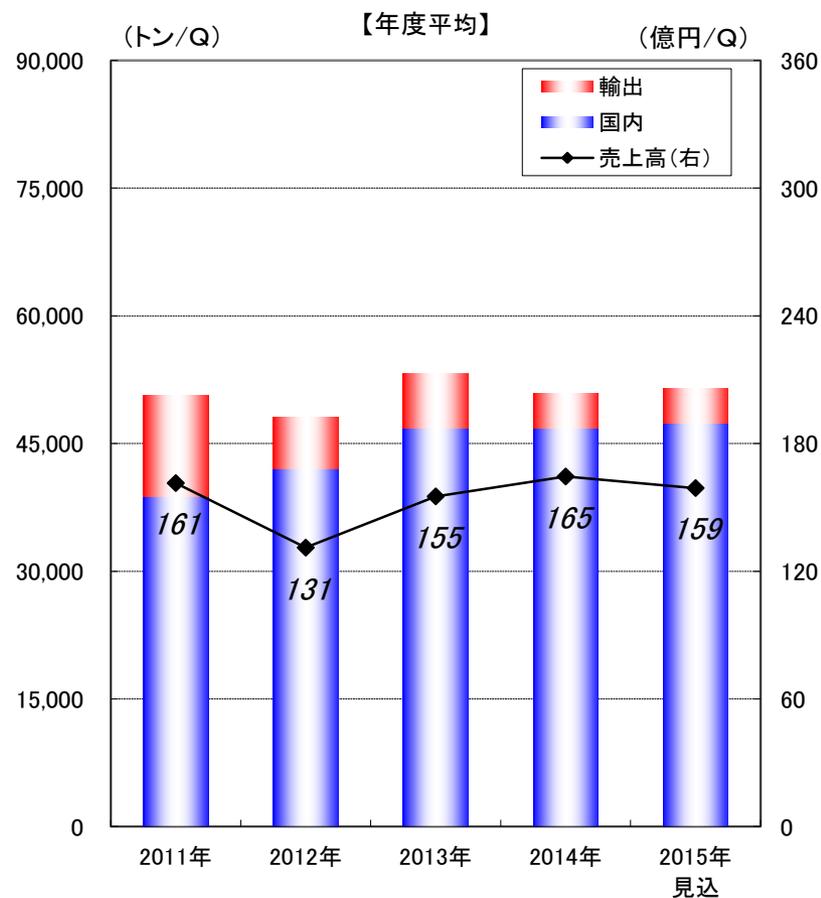
(出所) 鉄鋼新聞。

# ステンレス(ニッケル系・クロム系)在庫の推移



# 販売量及び売上高《ステンレス一般材》

➤ LMEニッケル相場下落等を背景に、数量・売上高共に減少

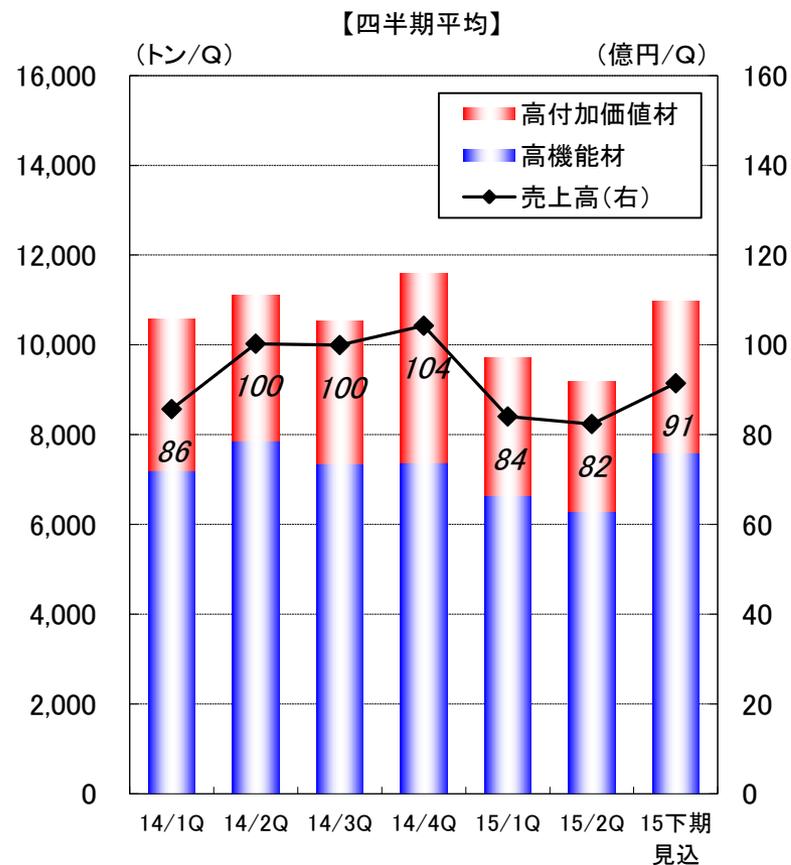
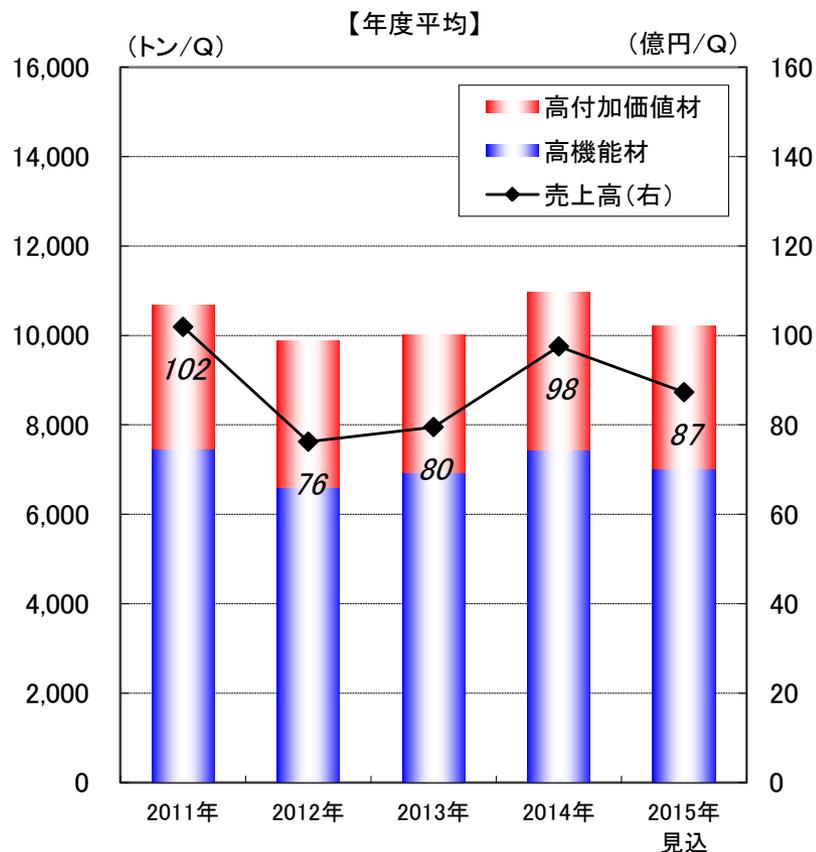


# 高機能材部門の状況

		今年度上期	下期想定
国内		<ul style="list-style-type: none"> <li>国内は円安が継続していることにより、間接輸出需要が期末にかけて活気を取り戻す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上期に引き続き円安が継続、間接輸出需要が期待できる</li> <li>災害復興や、オリンピック等に関連した国内インフラ需要も徐々に増加</li> </ul>
	中国	<ul style="list-style-type: none"> <li>景気減速の影響で物件数の減少や延期、問屋在庫増等により需要減少</li> <li>シーズヒーター等の消費財や環境対策関連分野は堅調</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上期に引き続き環境対策関連事業は堅調</li> </ul>
海外	韓国	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォン高により大手重工業メーカーを中心に海外からの受注が減少</li> <li>原油安によるオイル・ガス関連需要の低迷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上期の厳しい状況は継続する見通しで、信用情報の悪化した企業が見受けられる</li> <li>全体的には需要低迷の見通しだが、少数の実行段階にある案件があり、需要が期待できる</li> </ul>
	北米	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較的民需が好調であり、耐久消費財需要は活況</li> <li>原油安によるオイル・ガス関連需要の低迷は、各種需要減を招来</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>航空機産業需要は旺盛で、金型材の需要が期待できる</li> <li>パイメタル、シーズヒーター等の耐久消費財需要も堅調</li> </ul>
	欧州	<ul style="list-style-type: none"> <li>EU財政問題は一服感はあるが経済成長は鈍く、低迷</li> <li>シーズヒーター等の耐久消費財需要は補足できたが、全体的に低迷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>好調なシーズヒーター用途への販売は継続すると予想</li> <li>欧州パイプメーカーの引き合いが増えており、需要の増加が期待できる</li> </ul>
	中南米	<ul style="list-style-type: none"> <li>原油安の影響は大きく同地域経済は停滞</li> <li>米州を中心とする耐久消費財関連業種は好調</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上期から引き続き、原油安が経済に影響</li> <li>足元で好調な耐久消費財関連分野の需要拡大が期待できる</li> </ul>
	東南アジア	<ul style="list-style-type: none"> <li>原油安によるオイル・ガス関連需要の低迷</li> <li>新設したシンガポール拠点の効果により、小規模な顧客数が増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上期に引き続き小規模顧客に細かく対応し需要を確保</li> <li>インドでパイプラインの大型物件が進捗中であり、需要の増加が期待できる</li> </ul>

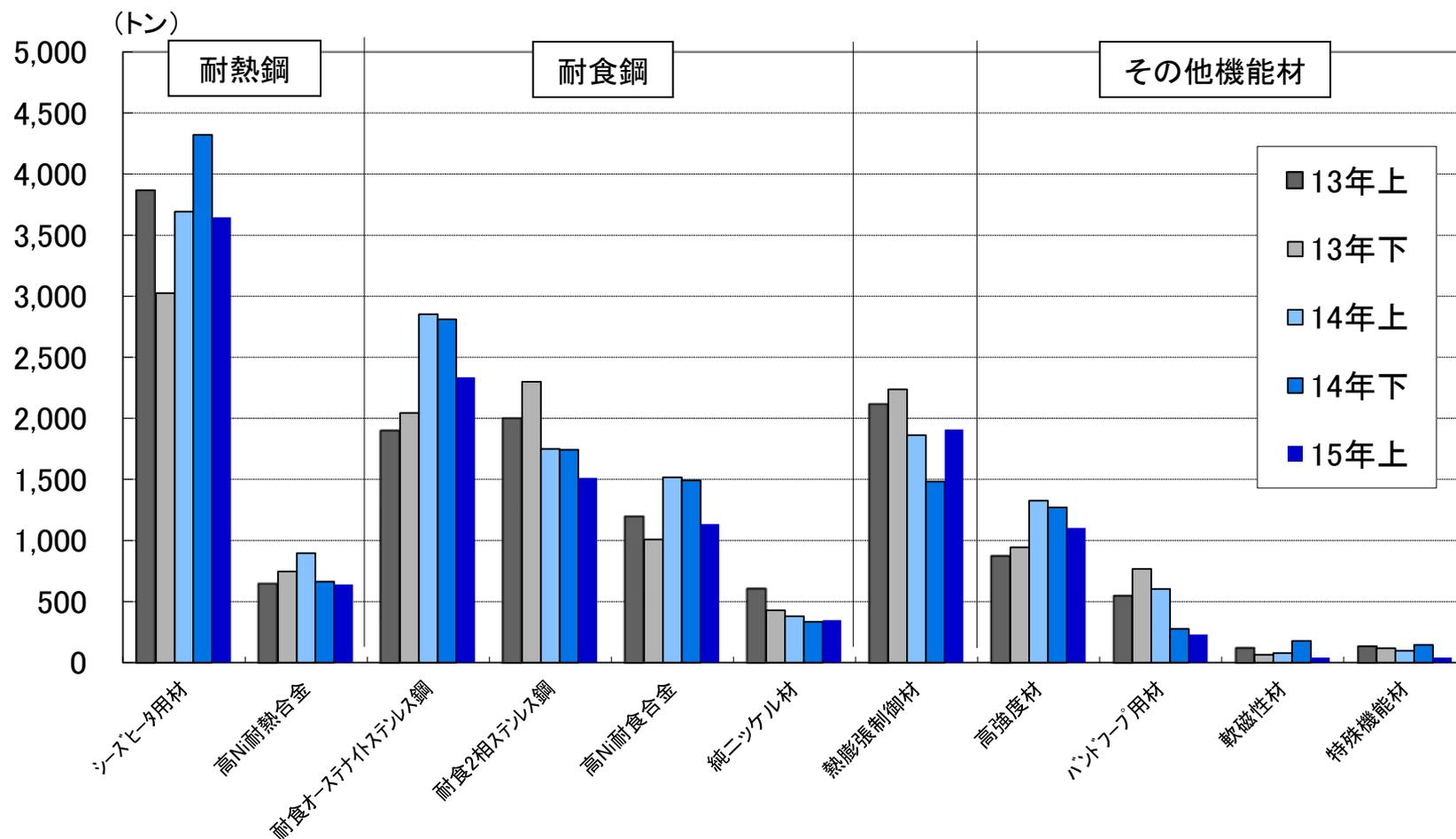
# 販売量及び売上高《高機能材部門合計》

➤ 原油安によりオイル・ガス関連事業が停滞、販売量・売上高共に減少



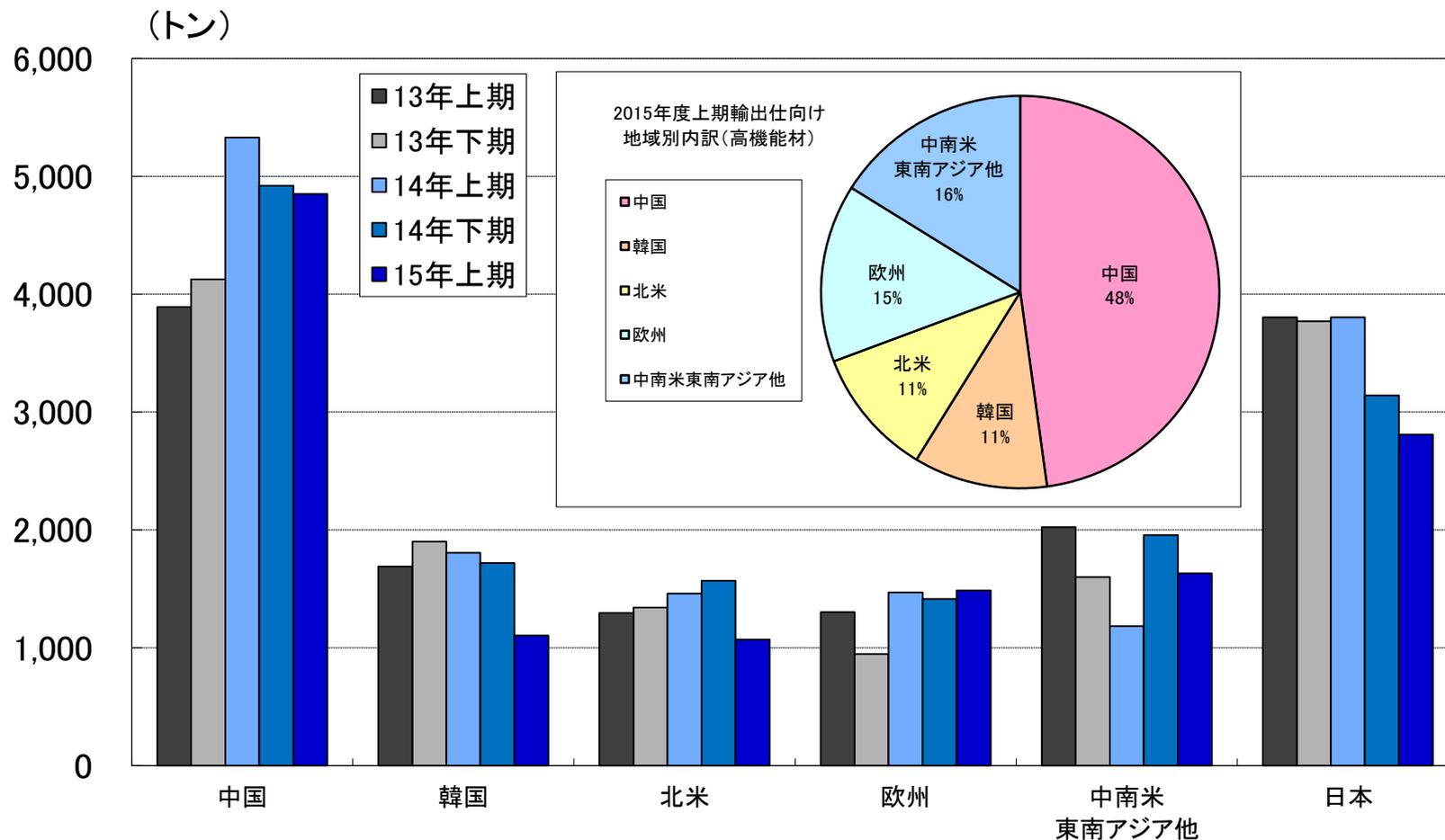
# 高機能材の分類・用途別分類の推移(販売量)

▶ シーズヒーター用材、熱膨張制御材(航空機金型用)が堅調



# 高機能材の輸出地別推移(販売量)

➤ 中国は発電/環境分野が引き続き堅調

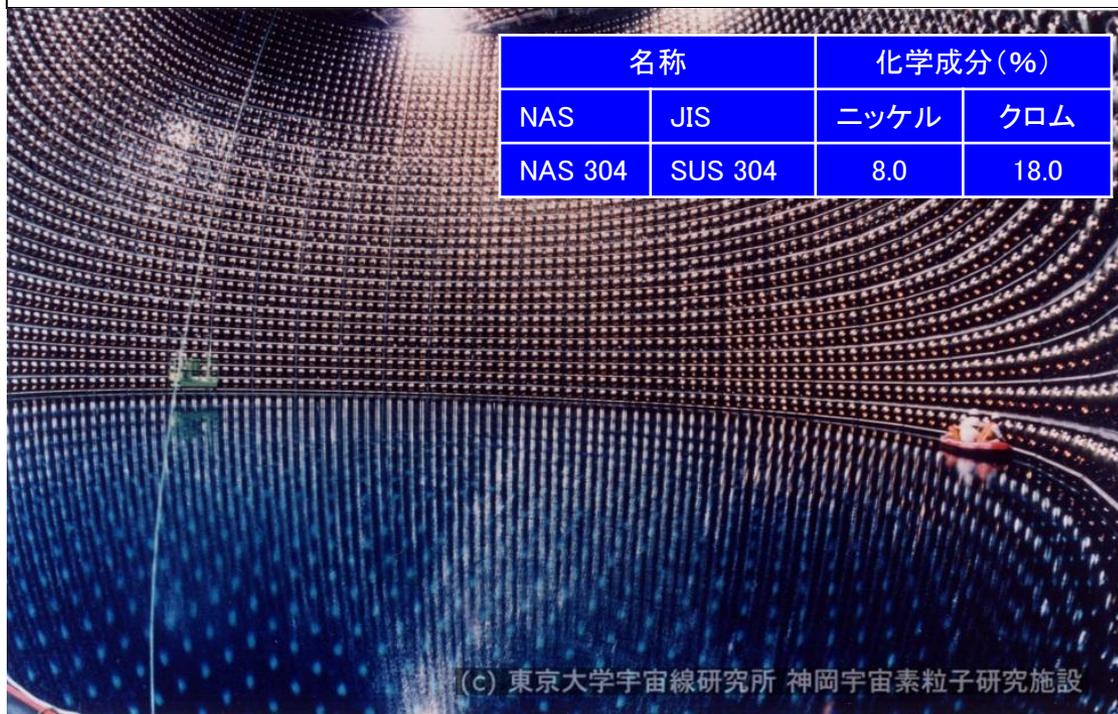


# 製品紹介

## ▶ 弊社製品採用例のご紹介

### スーパーカミオカンデ

スーパーカミオカンデは東京大学の梶田教授が2015年のノーベル物理学賞を受賞したことで一躍脚光を浴びている素粒子物理学の基礎研究施設です。スーパーカミオカンデでは、神岡鉱山(岐阜県飛騨市)の地下1,000mに設置された円筒形水タンク(直径39.3m、高さ41.4m)の内部を満たした5万トンの超純水を構成する酸素と水素の原子に、ニュートリノが衝突するときに発するわずかな光を捉えることによりニュートリノを観測しています。



弊社の高品質なステンレス鋼NAS304は、このタンクの床材に数十トン使用され、5万トンの超純水を保持し続けています。

## 配当について

### ➤ 2016年3月期中間の配当

誠に遺憾ながら見送ることとさせていただきます。

### ➤ 2016年3月期末の配当

経営環境は依然厳しく先行きへの不透明感があることから現時点では未定としております。今後の業績を見極め、開示可能になった時点で速やかにお知らせ致します。

## 本日のアジェンダ

1. 2016年3月期第2四半期決算サマリー

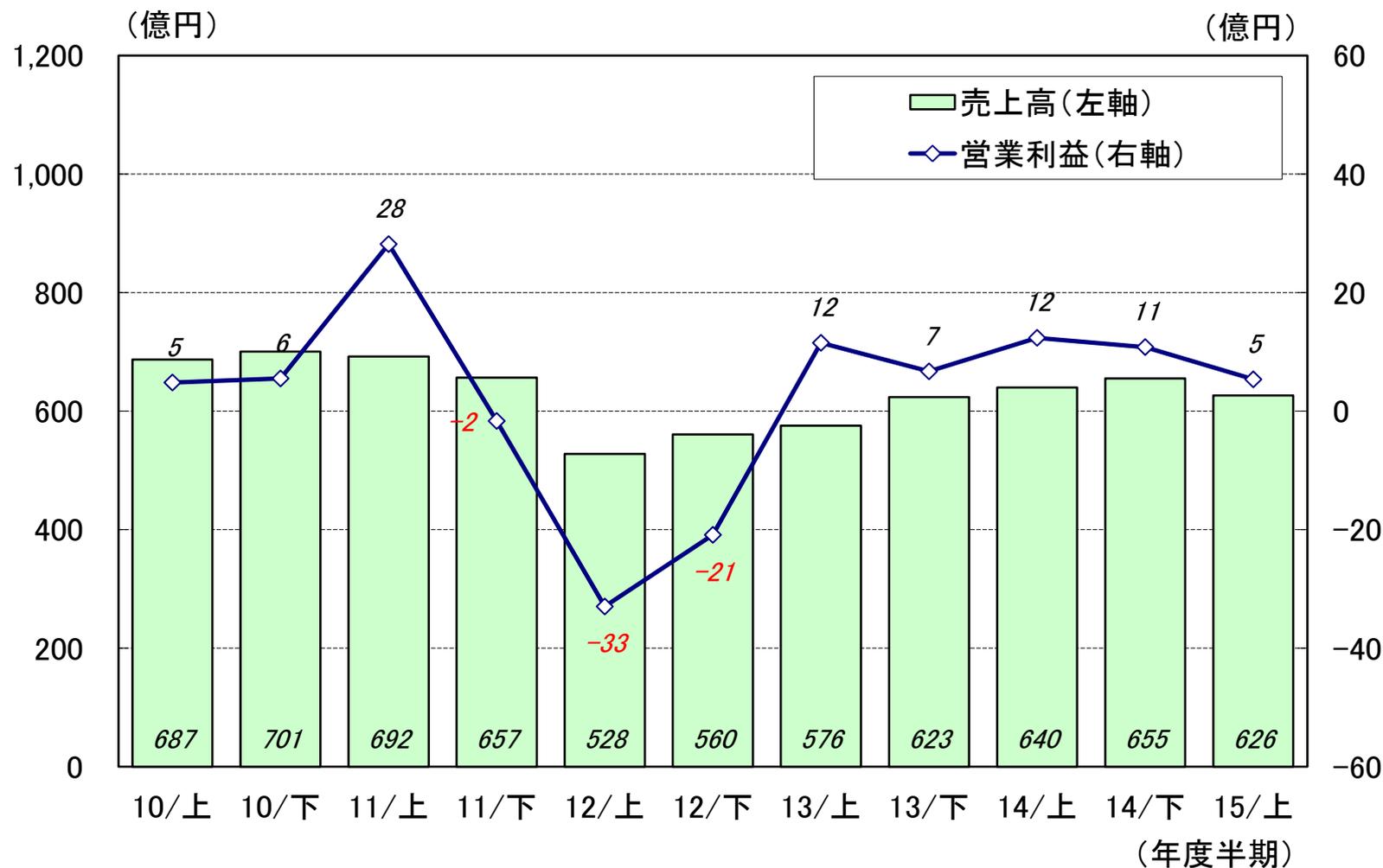
執行役員経理部長 小林 伸互

2. 足元の状況と競争力強化の取り組み

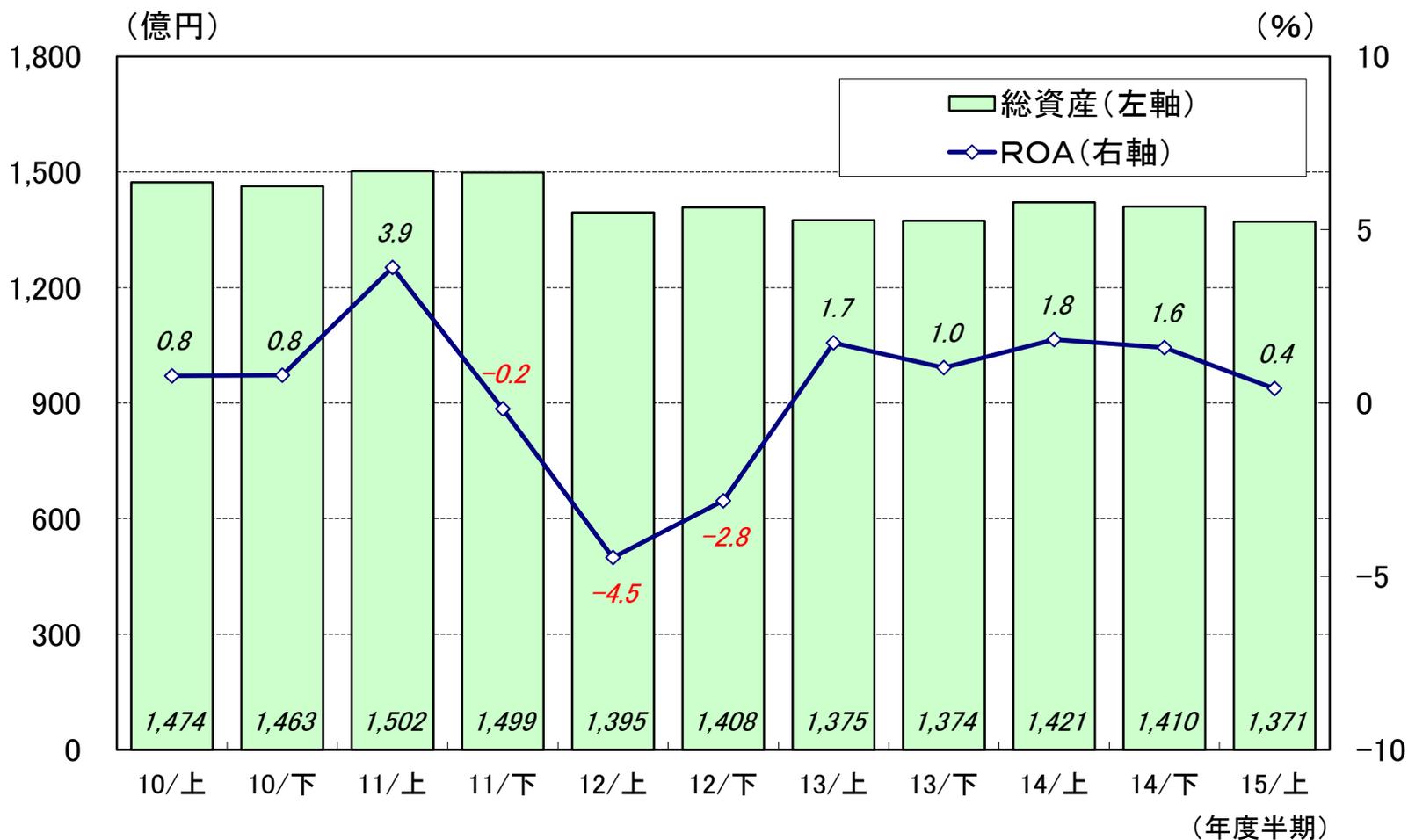
代表取締役社長 木村 始

**<参考> 主要データ(連結ベース)**

# 売上高・営業利益

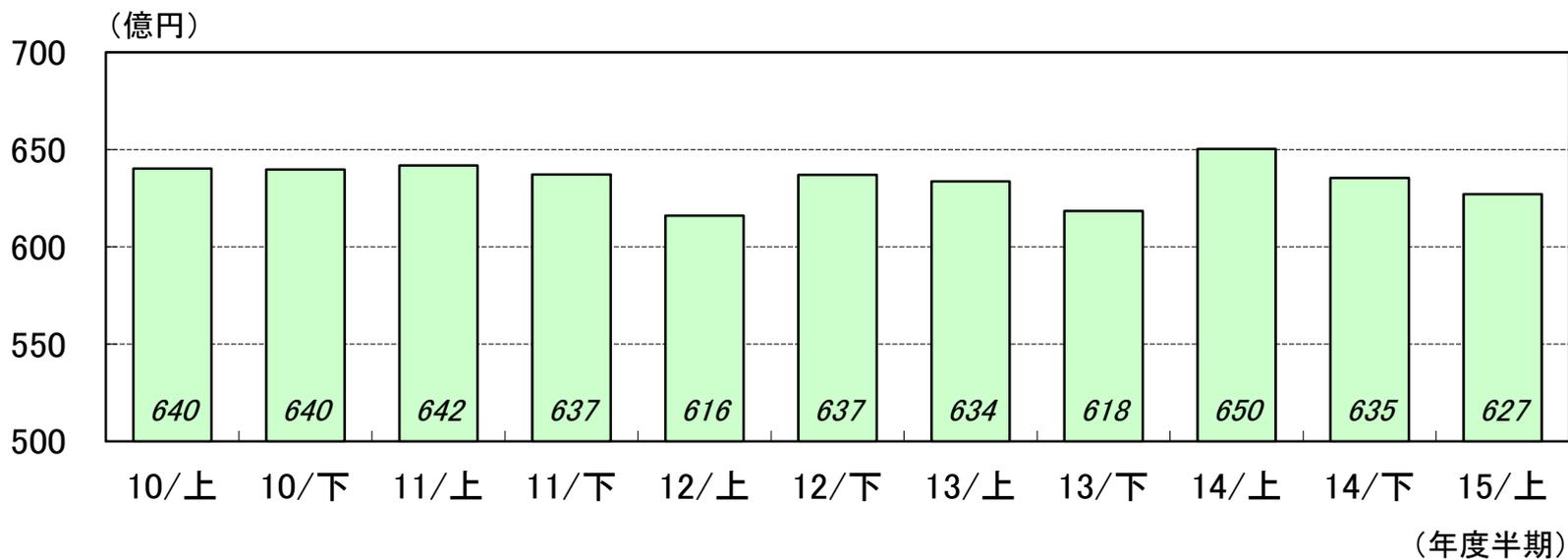
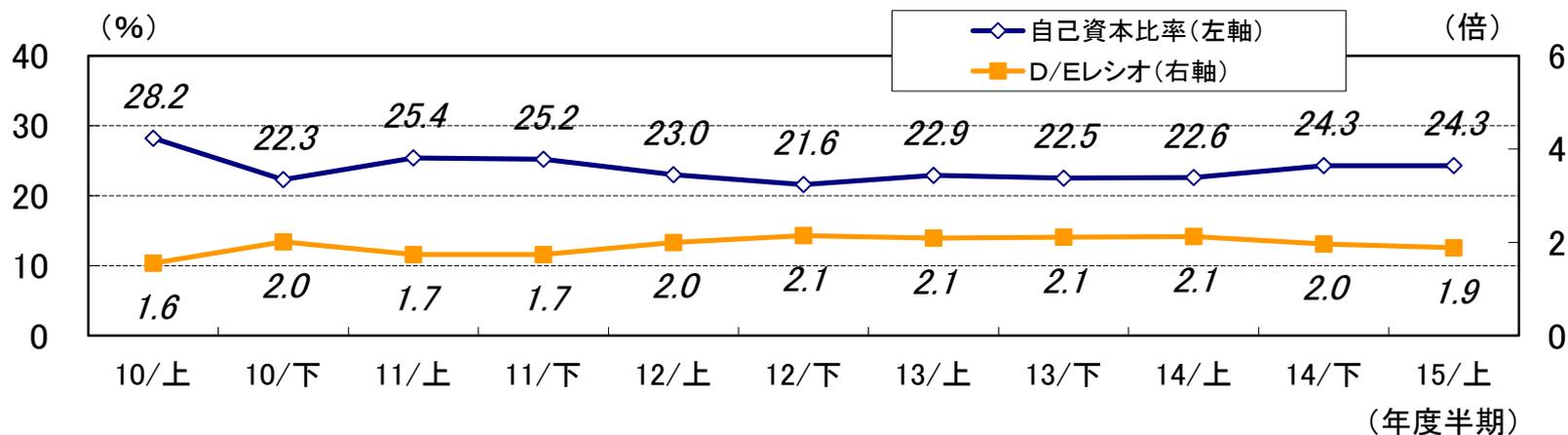


# 総資産額・ROA

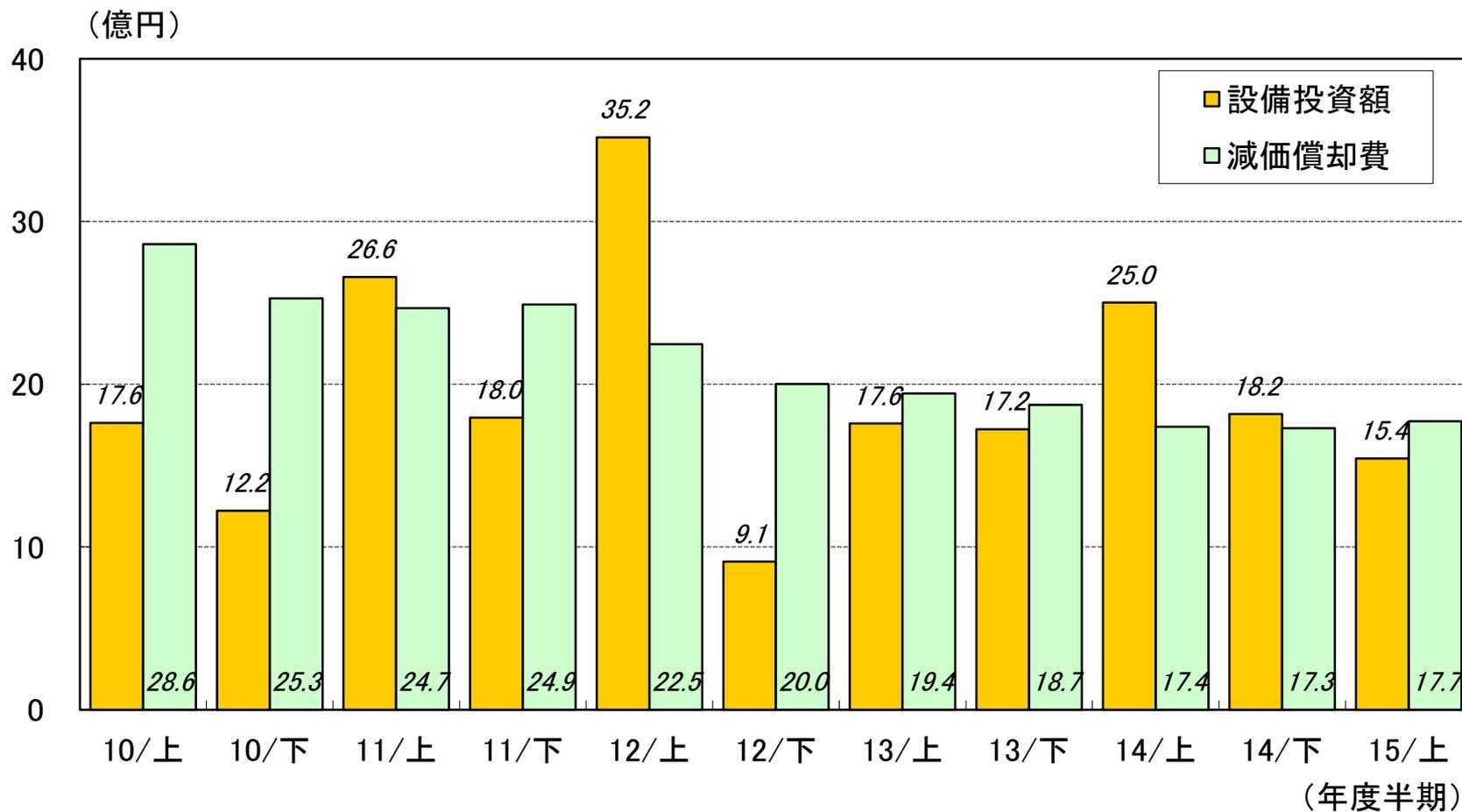


(注)ROAは(営業利益+受取利息・受取配当金)／期初・期末平均総資産

# 有利子負債残高と自己資本比率、D/Eレシオ



# 設備投資(連結ベース)



歴史あるステンレスメーカーから新しいステンレス特殊鋼メーカーへ  
～ そして競争力No.1の高機能材メーカーへ～

# 日本冶金工業

本資料のいかなる内容も、弊社株式の投資勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料に掲載された計画や見通し、予測等は、現時点で入手可能な情報に基づいた弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切の責任を負いかねますので、ご承知下さい。

【本件に関するお問い合わせ】

日本冶金工業株式会社 IR事務局

Tel. 03-3273-3613 /

E-MAIL. irjimu@nykj.jp